

答え

●ドリルやテストがおわったら、うしろの「がんばりひょう」にシールをはりましょう。
●まちがえたら、かならずやり直なおしましょう。「考え方」も読み直よしましょう。



➤1. ① グラフと ひょう

1 ページ

① ① どうぶつの 数

		○		
		○		○
		○	○	○
	○	○	○	○
	○	○	○	○
	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
きりん	ひつじ	さる	うさぎ	あひる

- ②さる ③あひる ④きりん
⑤うさぎが 1匹き 多い。

考え方 ○をつかってグラフにあらわすときは、下からじゅんに○をかいていきます。グラフにあらわすと、数の多い少ないが、わかりやすくなります。グラフのもっとも高たかいものが、いちばん多いものです。
⑤「どちらが」「何びき」多いときかれているので、うさぎだけでは答えになりません。

➤2. ① グラフと ひょう

2 ページ

- ① ①サッカー ②野きゅう
③野きゅう と サッカー ④サッカー

考え方 グラフの○の数を数えて読みとりましょう。
④ 1回めと2回めの人数をあわせると、いちばん多いのはサッカーで、12人です。

➤3. ② たし算の ひっ算

3 ページ

- ① ① $\begin{array}{r} 13 \\ +26 \\ \hline \end{array}$ ② $3+6=9$
③ $1+2=3$
④39

- ② ① $\begin{array}{r} 35 \\ +24 \\ \hline 59 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 15 \\ +63 \\ \hline 78 \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} 45 \\ +22 \\ \hline 67 \end{array}$
④ $\begin{array}{r} 38 \\ +61 \\ \hline 99 \end{array}$ ⑤ $\begin{array}{r} 19 \\ +50 \\ \hline 69 \end{array}$ ⑥ $\begin{array}{r} 70 \\ +25 \\ \hline 95 \end{array}$

- ③ しき $62+27=89$ $\begin{array}{r} 62 \\ +27 \\ \hline 89 \end{array}$
答え 89円

考え方 ひっ算は、くらいをたてにそろえて書いて、一のくらいから計算します。

➤4. ② たし算の ひっ算

4 ページ

- ① ① $5+3=8$ ②6 ③68
② ①59 ②49 ③87
④ $\begin{array}{r} 23 \\ +4 \\ \hline 27 \end{array}$ ⑤ $\begin{array}{r} 5 \\ +90 \\ \hline 95 \end{array}$

- ③ しき $32+5=37$ $\begin{array}{r} 32 \\ +5 \\ \hline 37 \end{array}$
答え 37さつ

考え方 (2けたの数)+(1けたの数)のひっ算では、1けたの数は一のくらいに書きます。

➤5. ② たし算の ひっ算

5 ページ

- ① ① $\begin{array}{r} 24 \\ +38 \\ \hline \end{array}$ ② $4+8=12$
③(じゅんに)3、6
④62
② ① $\begin{array}{r} 19 \\ +57 \\ \hline 76 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 46 \\ +28 \\ \hline 74 \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} 39 \\ +16 \\ \hline 55 \end{array}$

10. ③ ひき算の ひっ算

10 ページ

- 1 ① $7-2=5$
 ② $5-5=0$
 ③ 5
- 2 ① 44 ② 20 ③ 19
 ④ $\begin{array}{r} 58 \\ -4 \\ \hline 54 \end{array}$ ⑤ $\begin{array}{r} 88 \\ -7 \\ \hline 81 \end{array}$ ⑥ $\begin{array}{r} 46 \\ -6 \\ \hline 40 \end{array}$

- 3 しき $83-50=33$ $\begin{array}{r} 83 \\ -50 \\ \hline 33 \end{array}$
 答え 33円

考え方 ② 答えの一のくらいが0になるときは、0を書きわすれないようにします。

11. ③ ひき算の ひっ算

11 ページ

- 1 ① $\begin{array}{r} 53 \\ -17 \\ \hline \end{array}$ ②(じゅんに) 13、6
 ③(じゅんに) 4、1、3
 ④ 36
- 2 ① $\begin{array}{r} 43 \\ -26 \\ \hline 17 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 72 \\ -58 \\ \hline 14 \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} 61 \\ -34 \\ \hline 27 \end{array}$
 ④ $\begin{array}{r} 93 \\ -67 \\ \hline 26 \end{array}$ ⑤ $\begin{array}{r} 86 \\ -47 \\ \hline 39 \end{array}$ ⑥ $\begin{array}{r} 54 \\ -29 \\ \hline 25 \end{array}$

考え方 くり下がりのあるひっ算です。十のくらいからくり下げます。くり下げたあとの数を上に小さく書いておきます。

12. ③ ひき算の ひっ算

12 ページ

- 1 ① $\begin{array}{r} 50 \\ -23 \\ \hline \end{array}$ ②(じゅんに) 10、7
 ③(じゅんに) 4、2、2
 ④ 27
- 2 ① $\begin{array}{r} 80 \\ -67 \\ \hline 13 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 40 \\ -25 \\ \hline 15 \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} 72 \\ -63 \\ \hline 9 \end{array}$
 ④ $\begin{array}{r} 51 \\ -49 \\ \hline 2 \end{array}$ ⑤ $\begin{array}{r} 75 \\ -8 \\ \hline 67 \end{array}$ ⑥ $\begin{array}{r} 80 \\ -4 \\ \hline 76 \end{array}$

考え方 ひく数が1けたのときは、くらいをたてにそろえて書くときにちゅういします。

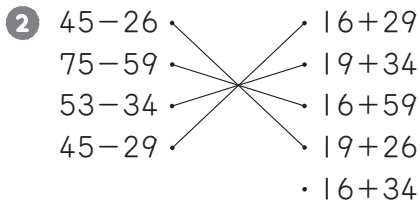
- 2 ①、②、⑥ひかれる数の一のくらいが0なので、十のくらいからくり下げます。

13. ③ ひき算の ひっ算

13 ページ

- 1 ①色紙の 数…38まい
 赤い 色紙…16まい
 ②しき $38-16=22$ [ひっ算] $\begin{array}{r} 38 \\ -16 \\ \hline 22 \end{array}$
 答え 22まい

- ③しき $22+16=38$
 ④(じゅんに)ひく数、ひかれる数



考え方 計算してから答えをたしかめることが大切です。ひき算では、答えにひく数をたしてひかれる数になることでたしかめられます。

- 2 まず、ひき算をして答えをもとめ、たされる数を見つけます。

14. ③ ひき算の ひっ算

14 ページ

- 1 ① 22 ② 28 ③ 6
 ④ 33 ⑤ 56 ⑥ 5
 ⑦ 52 ⑧ 75 ⑨ 86
- 2 $\begin{array}{r} 86-50 \\ 67-3 \\ 48-23 \end{array}$ $\begin{array}{r} 64+3 \\ 25+23 \\ 36+50 \\ 3+67 \end{array}$
- 3 しき $35-27=8$ $\begin{array}{r} 35 \\ -27 \\ \hline 8 \end{array}$ 答え 8本

考え方 ひき算も一のくらいから計算することをしっかりおぼえておきましょう。

- 2 はじめに上の3つのしきの答えをもとめます。その答えに、ひく数をたしたしきをさがします。

おうちのかたへ

十の位から1くり下げる筆算は、くり下げたあとの数を上に小さく書いておくと、間違いが少ないです。

また、十の位からくり下げる筆算の仕方を、言葉でも言えるようにしておきましょう。

15. ④ 長さの たんい

15 ページ

- 1 ①
- 2 ㊦ 12 cm ① 8 cm ㊵ 3 cm
- 3 ㊦ 1 cm ① 6 cm
㊵ 5 cm ㊥ 10 cm

考え方 ③ 長さをはかるときは、はしからはしまでをはかります。㊦、㊵、㊥の左はしにちゅういして長さをはかりましょう。

16. ④ 長さの たんい

16 ページ

- 1 8 cm 2 mm
- 2 ㊦ 8 mm ① 4 cm 5 mm
㊵ 6 cm ㊥ 12 cm 9 mm
- 3 ① 3 cm ② 2 cm 8 mm

考え方 ものさしの小さい|めもりは1 mmをあらわします。1 cmのめもりがいくつと、あと1 mmがいくつで、長さをきめましょう。

17. ④ 長さの たんい

17 ページ

- 1 ① 10 cm 5 mm ② 105 mm
- 2 ① 11 cm ② 6 cm 7 mm
- 3 ① 80 ② 5
③ 24 ④ (じゅんに) 5、7
- 4 (ものさしをつかって、まっすぐな線をひきましょう。) ㊸はしょうりやく。

考え方 線などの長さをはかるときは、左はしともものさしの左はしをあわせて、ものさしのめもりをよみます。

小さい|めもりは1 mmをあらわし、10めもりで1 cmです。だから1 cm = 10 mm。

18. ④ 長さの たんい

18 ページ

- 1 ① (じゅんに) 4、5、5、9、5
 答え 9 cm 5 mm
- ② (じゅんに) 5、3、8
 答え 8 cm
- ③ (じゅんに) 9、5、8、1、5
 答え ㊦の線が 1 cm 5 mm 長い
- 2 ① 13 cm 3 mm ② 10 cm 8 mm
③ 6 cm 7 mm ④ 6 cm 4 mm

考え方 長さの計算は、cm どうし、mm どうしで、たしたり、ひいたりします。

19. ⑤ 3けたの 数

19 ページ

- 1 ① 324 ② 412
- 2 ㊦ 5 ① 3 ㊵ 8
㊥ 6 ㊦ 2 ㊧ 0
- 3 ① 百八十五 ② 七百二十
③ 四百六 ④ 三百
- 4 ① 132 ② 850
③ 705 ④ 500

考え方 ① 100のまとまり、10のまとまり、1のまとまりがそれぞれ何こあるかしらべます。
④ 何もないくらいには、0と書きます。

20. ⑤ 3けたの 数

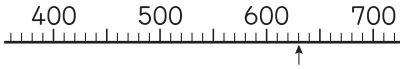
20 ページ

- 1 ㊦ 7 ① 3 ㊵ 6
- 2 ① 529
② (じゅんに) 2、4、3
③ (じゅんに) 7、6
- 3 ① 814 ② 605
③ 237 ④ 900

考え方 ② ① お金で考えると、100円玉5こ、10円玉2こ、1円玉9こになります。
②③ も、お金やカードで考えてもよいでしょう。

③ 数にあらわすときは、百のくらい、十のくらい、一のくらいのじゅんに書きます。
③、④の書き方にちゅういしましょう。

21. ⑤ 3けたの数 21 ページ

- 1 ①570 ②29
 ③67 ④43
- 2 ①ア70 ①310 ㊦460 ㊦790
 ② 
- 3 ①(じゅんに)695、700、710、715
 ②(じゅんに)395、408、415

考え方 ① 10が10こあつまって100となります。

② 小さい|めもりがいくつになるかをしらべることが大切たいせつです。

③ |めもりの大きさは、①では685からつぎのめもりが690だから5とわかります。②では、390と400で10の間に10の小さいめもりがあるから|とわかります。あいだ

22. ⑤ 3けたの数 22 ページ

- 1 ①(じゅんに)10、1000
 ②1000(または千)
- 2 ①10 ②200
 ③600 ④940
 ⑤1000 ⑥10こ
- 3 ①600 ②500
 ③57

考え方 ① 100円玉が10こで1000円です。お金で考えるとわかりやすくなります。

② 小さい|めもりは、0から100を10に分けているから、10とわかります。

23. ⑤ 3けたの数 23 ページ

- 1 ①130 ②130
 ③110 ④130
 ⑤120 ⑥130
- 2 ①80 ②30
 ③80 ④70
 ⑤80 ⑥40
- 3 ①600 ②800

- ③900 ④300
 ⑤500 ⑥300
- 4 ①870 ②800
 ③509 ④500

考え方 ①② 何十たす何十の計算も、百何十ひく何十の計算も、10がいくつといくつで考えます。80+50は、10が8+5で13から→130、140-60も、10が14-6で8から→80ともとめられます。

③ 100のまとまりを考えて計算します。

④ 100のまとまりだけでは考えられません。このように何百と何十やいくつの計算は、十のくらい、一のくらいどうして計算していきます。③の計算も、百のくらいどうしの計算になることがわかります。

24. ⑤ 3けたの数 24 ページ

- 1 ①402に〇、百
 ②589に〇、一
 ③965に〇、十
- 2 ①< ②< ③> ④>
- 3 ①< ②= ③< ④>
- 4 3、2、1、0

考え方 数の大きさをくらべるときは、大きいくらいからくらべていきます。

② ①百のくらいが同じ数なので、十のくらいでくらべます。②百のくらいも十のくらいも同じ数なので、一のくらいでくらべます。

③ 計算のしきと数の大小をくらべるときは、まず計算してから考えます。
 ①70+50=120だから、120と130をくらべます。

④ 十のくらいの数で考えます。4とすると、54|<548となり、4より小さい数とわかります。あてはまる数は1つとはかぎりません。

考え方 ① それぞれの時こくを正しくよみます。左から9時、9時10分、9時45分、10時です。

② ②長いはりを20分もどした時こくです。

③ 1時間=60分から、①1時間40分は1時間と40分→60分と40分と考えます。

30. ⑦ 時こくと 時間

30 ページ

① ①午前6時25分

②午後8時50分

② ①12時間

②12時間

③24時間

③ ①4時間

②4時間30分

考え方 ②③ 時計の数の線の線を見てもとめますが、なれてきたら頭の中で考えるようにします。

31. たし算の ひっ算

31 ページ

① ①77 ②88 ③83 ④60

② ① 24 ② 38 ③ 5 ④ 19

$$\begin{array}{r} +66 \\ 90 \end{array} \quad \begin{array}{r} +40 \\ 78 \end{array} \quad \begin{array}{r} +57 \\ 62 \end{array} \quad \begin{array}{r} +4 \\ 23 \end{array}$$

③ しき $26+28 = 54$ $26 + 28 = 54$
 答え 54 ページ

④ ①しき $38+14=52$ 38
 答え 52 こ $\begin{array}{r} +14 \\ 52 \end{array}$

②しき $38+52=90$ 38
 答え 90 こ $\begin{array}{r} +52 \\ 90 \end{array}$

考え方 ② ひっ算の書き方は、くらいをそろえて書くことをわすれないようにしましょう。

④ ② $38+14=52$ (こ)ではありません。もんだいの文をよく読みましょう。

32. ひき算の ひっ算/長さの たんい

32 ページ

① ①62 ②18 ③4 ④46

② ① 68 ② 70 ③ 34 ④ 91

$$\begin{array}{r} -42 \\ 26 \end{array} \quad \begin{array}{r} -52 \\ 18 \end{array} \quad \begin{array}{r} -8 \\ 26 \end{array} \quad \begin{array}{r} -9 \\ 82 \end{array}$$

③ ①70 ②5

③64 ④(じゅんに)8、4

④ ①5cm8mm

②2cm6mm

③4cm7mm

④5cm3mm

⑤ しき $23-6=17$ 23

$$\begin{array}{r} -6 \\ 17 \end{array}$$
 答え 17人

考え方 ① 一のくらいから計算します。

② ひっ算の書き方にちゅういしましょう。

③ 1cm=10mmをわすれないことです。

④ 長さの計算は、cmどうし、mmどうして計算します。③では4mmと4cmをたして、8cm3mm、④では5cm-5mmで8mmと答えるまちがいが多いので気をつけましょう。

ちゅうい 2けたのたし算やひき算を筆算で書くとき、位をそろえて書くのを忘れて、計算しやすい数にあわせてしまうミスが多いので注意します。

33. 3けたの 数/水の かさの たんい/時こくと 時間

33 ページ

① ①703

②590

② ①823

②670

③1000

③ ①2 ②8000

③(じゅんに)2、5 ④3

④ ①5L8dL

②5L

⑤ ①5時間20分

②午前10時30分

考え方 ① ① 十のくらいの数がないときは、0を書きわすれないことです。

③ 1L=10 dL、1L=1000 mL のかんけいをしっかりおぼえておきましょう。

⑤ ① 午前11時から正午まで1時間、正午から午後4時20分までを4時間20分と考えます。

34. ⑧ 計算の くふう

34 ページ

- ① ① $7+(14+6)=27$
 ② $15+(27+3)=45$
 ③ $24+(8+12)=44$
 ④ $9+(35+5)=49$

- ② ① 18 ② 19
 ③ 57 ④ 49

- ③ しき $16+7+3=26$ 答え 26羽
 ④ 同じ

考え方 ① ① $7+(14+6)$ とします。

- ② $15+(27+3)$ とします。
 ③ $24+(8+12)$ とします。
 ④ $9+(35+5)$ とします。

② ()のついたしきでは、()の中を先に計算します。

35. ⑧ 計算の くふう

35 ページ

- ① ① 32 ② 65
 ③ 54 ④ 41

- ② しき $37+8=45$ 答え 45まい

- ③ ① 55 ② 66
 ③ 42 ④ 36

- ④ しき $34-6=28$ 答え 28まい

考え方 ① ① $27+5$ $7+5=12$
 $20 \quad 7$ $20+12=32$
 $27+5$ $27+3=30$
 $3 \quad 2$ $30+2=32$

上の計算では、たされる数とたす数の一のくらいの数から計算します。下の計算は、たされる数を何十の数にするくふうをします。

③ ① $63-8$ $13-8=5$
 $50 \quad 13$ $50+5=55$
 $63-8$ $63-3=60$
 $3 \quad 5$ $60-5=55$

上の計算では、63の3から8はひけないので、63を50と13に分けて考えます。

下の計算では、63の3をひくために、ひく数の8を3と5に分けて考えます。

自分の計算しやすいほうで計算するようにしましょう。

36. ⑨ たし算と ひき算の ひっ算

36 ページ

- ① ① $4+5=9$
 ② (じゅんに) $7+6=13$ 、3、1
 ③ 139

- ② ① 146 ② 128 ③ 157
 ④ 104 ⑤ 106

- ③ ① 87 ② 28 ③ 97
 $\begin{array}{r} 87 \\ +52 \\ \hline 139 \end{array}$ $\begin{array}{r} 28 \\ +79 \\ \hline 107 \end{array}$ $\begin{array}{r} 97 \\ +5 \\ \hline 102 \end{array}$

考え方 十のくらいが、10か10より大きくなったら、百のくらいに1くり上げます。

37. ⑨ たし算と ひき算の ひっ算

37 ページ

- ① ① 117 ② 143
 ③ 137 ④ 121
 ⑤ 130 ⑥ 102
 ⑦ 101 ⑧ 100

- ② ① できる
 ② しき $45+37=82$ 答え 82円

考え方 ② ① ノート を 50円、えんぴつ を 40円とみて、100円で買えるかを考えます。

38. ⑨ たし算と ひき算の ひっ算 38 ページ

1 ① $7-2=5$ ② $13-4=9$
 ③ 95 ④
$$\begin{array}{r} 95 \\ + 42 \\ \hline 137 \end{array}$$

2 ① 76 ② 83 ③ 73
 ④ 35 ⑤ 52

3 ①
$$\begin{array}{r} 116 \\ - 23 \\ \hline 93 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 165 \\ - 94 \\ \hline 71 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 107 \\ - 47 \\ \hline 60 \end{array}$$

考え方 百のくらいからくり下げるひっ算です。

- 1 ④ひき算の答えのたしかめは、答えとひく数をたして、ひかれる数になるかどうかを計算します。
- 3 くらいをたてにそろえて書きます。

39. ⑨ たし算と ひき算の ひっ算 39 ページ

1 ① $18-9=9$ ② $13-6=7$
 ③ 79

2 ① 66 ② 69 ③ 84
 ④ 98 ⑤ 96

3 ①
$$\begin{array}{r} 105 \\ - 48 \\ \hline 57 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 107 \\ - 39 \\ \hline 68 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 101 \\ - 6 \\ \hline 95 \end{array}$$

考え方 十のくらいからくり下げて、百のくらいからもくり下げるひっ算です。くり下げたあとの数を上に小さく書いておきます。

40. ⑨ たし算と ひき算の ひっ算 40 ページ

1 ① 389 ② 599 ③ 505

2 ①
$$\begin{array}{r} 39 \\ + 235 \\ \hline 274 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 416 \\ + 4 \\ \hline 420 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 475 \\ - 58 \\ \hline 417 \end{array}$$

3 ①
$$\begin{array}{r} 428 \\ + 33 \\ \hline 461 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 103 \\ + 27 \\ \hline 130 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 274 \\ + 7 \\ \hline 281 \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 686 \\ - 69 \\ \hline 617 \end{array}$$
 ⑤
$$\begin{array}{r} 435 \\ - 27 \\ \hline 408 \end{array}$$
 ⑥
$$\begin{array}{r} 317 \\ - 8 \\ \hline 309 \end{array}$$

4 しき $213+85=298$
こた 答え 298 まい

考え方 数が大きい計算も一のくらいからじゅんに計算していきます。

- 2 3 のひっ算では、くらいをそろえて書くことにちゅういしましょう。

41. ⑨ たし算と ひき算の ひっ算 41 ページ

1 ① 158 ② 193 ③ 104
 ④ 93 ⑤ 43 ⑥ 308

2 ①
$$\begin{array}{r} 68 \\ + 71 \\ \hline 139 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 27 \\ + 148 \\ \hline 175 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 8 \\ + 94 \\ \hline 102 \end{array}$$

 ④
$$\begin{array}{r} 138 \\ - 62 \\ \hline 76 \end{array}$$
 ⑤
$$\begin{array}{r} 143 \\ - 75 \\ \hline 68 \end{array}$$
 ⑥
$$\begin{array}{r} 743 \\ - 36 \\ \hline 707 \end{array}$$

3 しき $160-75=85$ 答え 85 円

考え方 1 ①は十のくらいでくり上がりのあるたし算です。③は2回のくり上りのあるたし算です。まちがいにちゅういしましょう。

ちゅうい くり下がりのあるひき算では、くり下がりのあった数から1をひいて小さく書くようにしましょう。

$$\begin{array}{r} 2 \\ 134 \\ - 65 \\ \hline \end{array}$$

42. ⑩ 長方形と 正方形 42 ページ

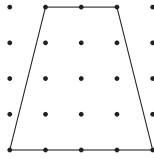
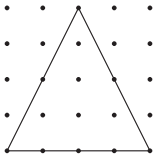
- 1 ①あ、う、か、く
 ②い、え、お、き
- 2 ①三角形
 ②四角形
 ③(じゅんに)へん、ちょう点
- 3 (じゅんに)3、3、
 4、4

考え方 三角形は、3本の直線でかこまれた形で、へんが3つ、ちょう点が3つあります。四角形は、4つの直線でかこまれた形で、へんが4つ、ちょう点が4つあります。

43. ⑩ 長方形と 正方形

43 ページ

- ① ①い、か ②う、お
 ② ①[れい] ②[れい]



- ③ (じゅんに) ^{さんかくけい} 三角形、^{さんかく} 三角形

考え方 ① ⑥は、^{ちよくせん} 直線でない線があるので、三角形ではありません。⑧は、直線ではない線があるので、四角形ではありません。③は、かこまれていないので、三角形ではありません。

44. ⑩ 長方形と 正方形

44 ページ

- ① い、え ② ③
 ② ① ② ③



- ③ う
 ④ ① ②

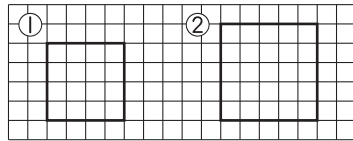


考え方 ① 三角じょうぎの1つのかどは、直角になっています。
 ③ 4つの角が直角なものをさがします。
 ④ ②は、たてのめもりをかえても、かどが直角になっていれば正しいとします。

45. ⑩ 長方形と 正方形

45 ページ

- ① い、う
 ②



- ③ 1cm 1cm
-

考え方 ① ⑦のかどもみんな直角です。
 ② 正方形では、へんの長さが1つきまると、形も1つにきまります。
 ③ 方がん紙のめもりの線にあわせてかきます。②の長方形のよこが6cmだから、よこ長の長方形をかきましょう。

46. ⑩ 長方形と 正方形

46 ページ

- ① い、え
 ②
-

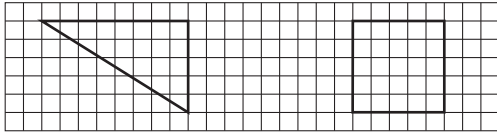
- ③ ①長方形、正方形
 ②正方形

考え方 ① 直角を見つけるには、三角じょうぎの直角のふぶんをつかってさがします。
 ② 方がん紙のそれぞれのますは正方形になっているので、方がん紙のかどは直角です。
 ③ ①のように長方形を切ると、直角のふぶんができません。正方形は4つとも直角三角形になります。

47. ⑩ 長方形と正方形

47
ページ

- 1 ①(じゅんに)へん、ちょう点
②(じゅんに)4、4
- 2 長方形…①、③
正方形…②、④
直角三角形…⑤、⑥
- 3 ① ②



- 考え方** 2 それぞれの形のへんの長さ、かどの大きさにちゅういしてさがし出します。
- 3 ②正方形はたてとよこのメモリの数が同じになるようにかきます。

ポイント 長方形は四角形の中で、4つの角が直角なものです。また、4つの角が直角で4つの辺が同じものを正方形といいます。三角形の中でも1つの角が直角のものを直角三角形といいます。

48. ⑪ かけ算(1)

48
ページ

- 1 ①(じゅんに)2、4、8
② $2 \times 4 = 8$
- 2 ① 4×3 ② 3×4
- 3 ①

- 考え方** 1 みかんは、1さらに2こずつ4さら分て、8こです。このことを、かけ算のしきに書くと、 $2 \times 4 = 8$ となります。
- 3 5×2 は、5この2つ分をあらわしています。

49. ⑪ かけ算(1)

49
ページ

- 1 ① 6×3
② $6 + 6 + 6 = 18$ 答え 18こ
- 2 ①しき 4×3
①しき $4 + 4 + 4 = 12$ 答え 12こ
- 3 3ばい
しき $2 \times 3 = 6$ 答え 6cm

考え方 かけ算の答えは、たし算でもとめることができます。

- 1 6×3 は、6この3つ分をあらわしているのて、 $6 + 6 + 6$ の計算と同じです。

50. ⑪ かけ算(1)

50
ページ

- 1 ①3
②しき $5 \times 3 = 15$ 答え 15こ
- 2 ①10 ②40 ③25
④45 ⑤20
- 3 しき $5 \times 7 = 35$ 答え 35まい

考え方 1 ②1つ分の数が5、いくつ分の数が3なので、しきは 5×3 となります。

51. ⑪ かけ算(1)

51
ページ

- 1 ①6
②しき $2 \times 6 = 12$ 答え 12こ
- 2 ①6 ②18 ③8
④10 ⑤16
- 3 しき $2 \times 7 = 14$ 答え 14人

考え方 1 ②1つ分の数が2、いくつ分の数が6なので、しきは 2×6 となります。

52. ⑪ かけ算(1)

52 ページ

- ① ①しき $3 \times 5 = 15$ 答え 15人
 ②3
 ③5
- ② ①21 ②12 ③18
 ④6 ⑤24 ⑥27
- ③ ①しき $3 \times 8 = 24$ 答え 24本
 ②3本

考え方 3 ① 1つ分の数は3なので、しきは 3×8 となります。 8×3 としないようにしましょう。
 ②3のだんでは、かける数が1ふえると答えは3ふえます。

53. ⑪ かけ算(1)

53 ページ

- ① ①しき $4 \times 7 = 28$ 答え 28本
 ②4
- ② ①24 ②20 ③8
 ④36 ⑤28 ⑥16
- ③ しき $4 \times 6 = 24$ 答え 24こ
- ④ 2×4

考え方 1 ① 1つ分の数は4なので、しきは 4×7 となります。
 ②4のだんでは、かける数が1ふえると答えは4ふえます。

54. ⑪ かけ算(1)

54 ページ

- ① ①しき $5 \times 7 = 35$ 答え 35こ
 ②しき $2 \times 8 = 16$ 答え 16こ

② ①

		かける数								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
かけられる数	2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
	3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
	4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
	5	5	10	15	20	25	30	35	40	45

- ②4
 ③3

考え方 1 ① 1つ分の数は5なので、しきは 5×7 となります。
 ② 2のだん、3のだん、4のだん、5のだんの九九をまちがえないでいえるまで、くりかえしれんしゅうしましょう。

きょうちの かけ算の九九で、かける数が1つずつ増えると、かけられる数だけ増えます。もし 3×7 がわからなくなったときは、 3×6 に3をたせばよいと考えます。

55. ⑫ かけ算(2)

55 ページ

- ① ①しき $6 \times 5 = 30$ 答え 30こ
 ②6こ
- ② ①18 ②36
 ③42 ④54
 ⑤30 ⑥48
- ③ ① 2×6 ② 3×4

考え方 1 ②6のだんでは、かける数が1ふえると、答えはかけられる数の6だけふえます。

56. ⑫ かけ算(2)

56
ページ

- ① ① 2×7 ② 7
 ② ① 35 ② 28
 ③ 49 ④ 14
 ⑤ 63 ⑥ 42
 ③ しき $7 \times 8 = 56$ 答え 56まい
 ④ ア 7 ① 3

考え方 ① ② 7のだんでは、かける数が1ふえると答えはかけられる数の7だけふえます。

- ④ 7×3 の7が1つ分なので、7本になります。3がいくつ分なので3人になります。

57. ⑫ かけ算(2)

57
ページ

- ① ① しき $8 \times 6 = 48$ 答え 48こ
 ② しき $8 \times 7 = 56$ 答え 56こ
 ③ 8こ
 ② ① 32 ② 56
 ③ 24 ④ 48
 ⑤ 72 ⑥ 64
 ③ ① しき $8 \times 9 = 72$ 答え 72まい
 ② しき $8 \times 8 = 64$ 答え 64まい

考え方 ① ③ 8のだんでは、かける数が1ふえると、答えはかけられる数の8だけふえます。

- ③ ②のこりのふくろは、 $9 - 1 = 8$ より、8ふくろになります。かける数が1へると、かけられる数だけへるから、 $72 - 8 = 64$ としてももとめられます。

58. ⑫ かけ算(2)

58
ページ

- ① ① しき $9 \times 6 = 54$ 答え 54人
 ② 9人
 ② ① 27 ② 45 ③ 54
 ④ 72 ⑤ 36 ⑥ 81
 ③ ① しき $9 \times 7 = 63$ 答え 63まい
 ② 9まい
 ④ しき $1 \times 6 = 6$ 答え 6こ

考え方 ① ②、③ ② 9のだんでは、かける数が1ふえると、答えはかけられる数の9だけふえます。

- ② 9のだんで答えがすぐ出てこないときは、かけられる数とかける数を入れかえて、① 9×3 では、 3×9 と3のだんで答えられることもおぼえておきましょう。

- ④ みかんを1人に1こずつ、6人にくばるから、 1×6 のかけ算のしきになります。

59. ⑫ かけ算(2)

59
ページ

- ① ① 4 ② 9×7
 ② ① 6 ② 5
 ③ ① 1×4 、 2×2 、 4×1
 ② 2×9 、 3×6 、 6×3 、 9×2
 ③ 8×9 、 9×8

考え方 ① ① かける数が1ふえると、答えはかけられる数だけふえるので、 4×6 の答えは 4×5 の答えより4ふえます。

- ② かけられる数とかける数を入れかえて計算しても、答えは同じになるので、 7×9 と答えが同じになる九九は 9×7 です。

- ③ 九九のひょうの中からさがしましょう。

60. ⑫ かけ算(2)

60
ページ

- ① 4ばい
 ② しき $4 \times 3 = 12$ 答え 12 cm
 ③ しき $7 \times 4 = 28$ 答え 28人
 ④ 24

考え方 2つ分のことを2ばい、3つ分のことを3ばい、4つ分のことを4ばいといいます。1ばいは、1つ分のことです。

- ① ①のテープの長さは、⑦のテープの長さの4つ分なので、4ばいになります。
 ② 何ばいかの大きさをもとめるときも、かけ算のしきになるので、 $4 \times 3 = 12$ (cm)となります。

61. ⑫ かけ算(2)

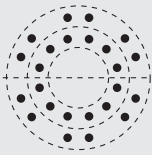
61 ページ

- ① ①(じゅんに)2、2、18
 ②(じゅんに)3、18
 ③(じゅんに)4、6、18
 ② しき [れい] $4 \times 6 = 24$ 答え 24 こ

考え方 ① ①2つに分けて、あとからたします。

- ②あいているところへうごかします。
 ③あいているところをあとからひきます。

② このように考えると、
 $4 \times 6 = 24$ (こ)となります。



このように考えると、
 $6 \times 4 = 24$ (こ)となります。

62. ⑫ かけ算(2)

62 ページ

- ① ①18 ②35 ③9
 ④32 ⑤21 ⑥36
 ⑦72 ⑧36 ⑨40
 ② しき $4 \times 7 = 28$ 答え 28 cm
 ③ しき $7 \times 6 = 42$ 答え 42 cm
 ④ ① 2×8 、 4×4 、 8×2
 ② 3×8 、 4×6 、 6×4 、 8×3

考え方 ③ 何ばいかの大きさをもとめるときも、かけ算のしきになるので、 $7 \times 6 = 42$ (cm)となります。

おうちの 九九の答えがすらすら出てくるまで、九九を練習しましょう。
 かける数の小さい方から覚えたら、次は、かける数の大きい方からも言ってみましょう。

63. 計算の くふう/たし算と ひき算の ひっ算/ 長方形と 正方形 63 ページ

- ★ ①27 ②59
 ③33 ④55
 ☆ ①121 ②103
 ③285 ④83
 ⑤67 ⑥404
 ☆ しき $103 - 18 = 85$ 答え 85 回
 ☆ ㊦…直角三角形 ①…長方形
 ㊵…正方形 ㊴…長方形
 ㊶…正方形

考え方 ☆ ①・②かっこをつかって計算のじゅんじよをかえます。

- ① $7 + (18 + 2) = 27$
 ② $19 + (34 + 6) = 59$
 ③ $27 + 6$ $7 + 6 = 13$
 $20 \quad 7$ $20 + 13 = 33$
 ④ $64 - 9$ $14 - 9 = 5$
 $50 \quad 14$ $50 + 5 = 55$

- ☆ くり上がり、くり下がりにちゅういして計算しましょう。
 ☆ 方がん紙はたて、よこの長さが同じで、かどが直角になっています。四角形では、へんの長さが同じかどうかで見わけます。

64. かけ算(1)/かけ算(2) 64 ページ

- ★ ①20 ②16
 ③10 ④24
 ⑤30 ⑥27
 ⑦42 ⑧56
 ☆ ①3 ②4 ③3
 ④8 ⑤1 ⑥4
 ☆ しき $4 \times 7 = 28$ 答え 28 cm
 ☆ しき $9 \times 3 = 27$ 答え 27 まい

69. ⑭ 長いものの長さのたんい 69 ページ

- ① ①500 ②340
 ③(じゅんに)1、75 ④6
- ② しき $2\text{ m }30\text{ cm}+50\text{ cm}=2\text{ m }80\text{ cm}$
 答え $2\text{ m }80\text{ cm}$
- ③ 130 cm
- ④ 8 m 30 cm

考え方 ① $1\text{ m}=100\text{ cm}$ です。
 ② cm どうしたし算さんをします。
 ③ 1 m と 30 cm で $1\text{ m }30\text{ cm}$ となります。これを cm になおして考えます。
 ④ 1 m の8つ分は 8 m となります。

70. ⑮ たし算と ひき算 70 ページ

- ① ぜんぶの おはじき…40こ 赤…27こ
 青…13こ
- ② しき $31-19=12$
 答え 12羽
- ③ ①あげた…17まい
 のこり…26まい
 ②しき $17+26=43$
 答え 43まい

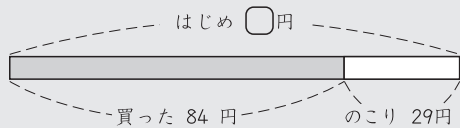
考え方 ③ はじめにあったまい数をもとめるので、答えをもとめるしきはたし算になります。
 たし算でもとめるのかひき算でもとめるのか、図を見るとわかります。自分で図をかくことも大切です。

71. ⑮ たし算と ひき算 71 ページ

- ① ①買って きた…23まい
 ぜんぶで…43まい
 ②しき $43-23=20$
 答え 20まい
- ② しき $84+29=113$
 答え 113円
- ③ ①50
 ②30

考え方 ① 買ってくる前のシールのまい数をもとめるので、答えをもとめるしきはひき算になります。

② 図にあらわして考えます。



- ③ ① $120-70=50$
 ② $12+18=30$

ポイント 図があたえられていないときは、自分で図をかいて考えます。

72. ⑯ 分数 72 ページ

- ① あ、え、か
 ② い、う、え
 ③ 4こ

考え方 ① 分けた2つの形が同じ大きさになっているものです。
 ② 分けた4つの形が同じ大きさになっているものです。
 ① ② とも、分けた形は同じ形になっています。
 ③ 1人分は、12この $\frac{1}{3}$ で4こです。

73. ⑯ 分数 73 ページ

- ① ①4ばい
 ② $\frac{1}{4}$ (四分の一)
 ② ①2
 ② $\frac{1}{2}$

考え方 ① ①のテープの長さは②のテープの長さの4ばい、②のテープの長さは①のテープを4つに分けた1つ分です。

74. ⑰ はこの形

74 ページ

- 1 ①あ長方形 ④正方形
 ②あ6つ ⑤6つ
 ③あ2つずつ ⑥6つ
 ④ア
- 2 ①6
 ②正方形

考え方 はこの形は、長方形や正方形からできていますが、さいころの形は正方形からできています。

75. ⑰ はこの形

75 ページ

- 1 ①ア4 ④4 ⑦4
 ②8こ
- 2 ①アちょう点 ④へん
 ②8こ
 ③12本
- 3 ①ア5 ④12
 ②8こ

考え方 ひごがへんに、ねん土玉がちょう点になります。

76. 水の かさの たんい
 たし算と ひき算の ひっ算

76 ページ

- ★ ①5000 ②6
 ☆ ①68 ②138
 ③71 ④69
- ★ ①
$$\begin{array}{r} 5 \\ +98 \\ \hline 103 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 54 \\ +83 \\ \hline 137 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 608 \\ + \quad 8 \\ \hline 616 \end{array}$$
- ④
$$\begin{array}{r} 80 \\ -26 \\ \hline 54 \end{array}$$
 ⑤
$$\begin{array}{r} 140 \\ -46 \\ \hline 94 \end{array}$$
 ⑥
$$\begin{array}{r} 425 \\ - \quad 9 \\ \hline 416 \end{array}$$

★ しき $124-37=87$
 答え 87こ

考え方 ★ ひっ算の書き方にちゅういしましょう。くらいをそろえて書きます。一のくらいから計算していきます。

おうちの かた 2年では3桁までの数のたし算やひき算を学習しましたが、数が大きくなって計算の仕方は、一の位から順に計算することは同じです。間違いやすいのはくり上がりやくり下がりですから、しっかりおさえましょう。

77. かけ算(1) / かけ算(2)

77 ページ

- ★ ①15 ②28
 ③81 ④3
 ⑤21 ⑥8
 ⑦48 ⑧45
 ⑨18 ⑩40
 ⑪28 ⑫48
- ★ ①3 ②3
 ③9 ④6
- ★ しき $9 \times 3 = 27$
 答え 27cm
- ★ しき $6 \times 3 = 18$ $18 - 8 = 10$
 答え 10まい

考え方 ★ しきは、かけ算とひき算の2つになります。

おうちの かた かけ算九九は、これからの数が大きいかけ算の基本となりますから、しっかり覚えておきましょう。

★ ①4702

②7

③2900

④9999

★ ㊦3200

㊧6400

★ ①30

③208

★ ①47

④4800

㊥7600

②(じゅんに)4、5

④(じゅんに)1、80

②160

考え方 ★ ① くらいに数がないときは、0を書きます。

★ ② |めもりがあらわす数を考えます。|めもりは100となります。

★ ③ $1\text{ cm} = 10\text{ mm}$ 、 $1\text{ m} = 100\text{ cm}$

★ ④ ① $15 + 32 = 47$

② $280 - 120 = 160$